

【一】 つぎの文章を読んで、後の問に答えよ。

こどものときから、忘れてはいけない、忘れてはいけない、と教えられ、忘れたと言っては叱られてきた。そのせいもあって、忘れることに恐怖心をいだき続けている。①悪いときめてしまう。

学校が忘れるな、よく覚えろ、と命じるのは、②それなりの理由がある。教室は知識を与える。知識をふやすのを目標にする。せっかく与えたものを片端から、捨ててしまつては困る。よく覚えておけ。覚えていいるかどうか、③ときどき試験をして調べる。覚えていなければ減点して④ケイコクする。点はいい方がいいにきまつているから、みんな知らず知らずのうちに、忘れるのをこわがるようになる。

【A】教育程度が高くなればなるほど、そして、頭がいいと言われれば、言われるほど、知識をたくさんもっている。【一】、忘れないでいるものが多い。頭の優秀さは、記憶力の優秀さと同じ意味をもっている。それで、④生き字引というような人間ができる。

【B】ここで、われわれの頭を、どう考えるかが、問題である。

【C】これまでの教育では、人間の頭脳を、倉庫のようなものと見てきた。知識をどんどん蓄積する。倉庫は大きければ大きいほどよろしい。中にたくさんものが詰つていなければならないほど結構だとなる。

【D】せっかく蓄積しようとしている一方から、どんどんものがなくなつて行つたりしてはことだから、⑤忘れるな、が合言葉になる。ときどき在庫検査をして、なくなつていないかどうかをチェックする。それがテストである。

【E】倉庫としての頭にとっては、忘却は敵である。博識は学問のある証拠であった。【二】、こういう人間頭脳にとっておそるべき敵があらわれた。コンピューターである。これが倉庫としてはすばらしい機能をもっている。いったん入れたものは決して失わない。必要ときには、さつと、引き出すことができる。整理も完全である。

コンピューターの出現、普及にもなつて、⑥人間の頭を倉庫として使うことに、疑問がわいてきた。コンピューター人間をこしらえていたのでは、本もののコンピューターにかなうわけがない。

そこでようやく創造的人間ということが問題になつてきた。コンピューターのできないことをしなくては、というのである。人間の頭はこれからも、一部は倉庫の役をはたし続けなくてはならないだろうが、それだけではない。新しいことを考え出す工場なくてはならない。倉庫なら、入れたものを紛失しないようにしておけばいいが、ものを作り出すには、そういう保存保管の能力だけではしかなかったが。

だいいち、工場にやたらなものが入つていては作業能率が悪い。よけいなものは処分して広々としたスペースをとる必要がある。それかと言つて、すべてのものをすててしまつては仕事にならない。⑦整理が大事になる。

倉庫にだつて整理は欠かせないが、それはあるものを順序よく並べる整理である。それに対して、工場内の整理は、作業のじやまになるものをとり除く整理である。

この工場の整理に当ることをするのが、忘却である。人間の頭を倉庫として見れば、危険視される忘却だが、工場として能率をよくしようと思えば、どんどん忘れてやらなくてはいけない。

⑧そのことが、いまの人間にはよくわかつていない。それで工場の中を倉庫のようにして喜んでいる人があらわれる。工場としても、倉庫としてもうまく機能しない頭を育ててしまいかねない。コンピューターには、こういう忘却ができないのである。コンピューターには倉庫に①センネンさせ、②人間の頭は、知的工場に重点をおくようにするのが、これからの方向でなくてはならない。

それには、⑩忘れることに対する偏見を改めなくてはならない。そして、そのつもりになつてみると、忘れるのは案外、⑨ムズカしい。例えば、何か突発の事件が起つたとする。その渦中の人は、あまりのことに、あれもこれもいろいろなことが一時に殺到する。⑪頭の中へどんだんいろいろなことが入つてきて、混乱状態におちいる。茫然自失、ぼうぜんじしつ、どうしていいかわからなくなる。これが「忙しい」のである。「忙」の字は、心(りっしんべん)を亡くしていると書く。忙しいと頭が働かなくなつてしまう。頭を忙しくしてはいけない。がらくたのいっぱい倉庫は困る。

平常の生活で、頭が忙しくしてはいけない。人間は、自然に、頭の中を整理して、忙しくならなくなつていっている。睡眠である。

眠つてからしばらくすると、レム(REM)睡眠というものが始まる。マブタがピクピクする。このレムの間に、頭はその日のうちにあつたことを整理している。記憶しておくべきこと、すなわち、倉庫に入れるべきものと、処分してしまつてよいもの、忘れるものとの区分けが行なわれる。自然忘却である。

朝目をさまして、気分爽快そうかいであるのは、夜の間、頭の中がきれいに整理されて、広々としているからである。何かの事情で、それが妨げられると、寝ざめが悪く、頭が重い。

⑫朝の時間が、思考にとつて黄金の時間であるのも、頭の工場の中がよく整頓されて、動きやすくなっているからにほかならない。

昔の人は、自然に従った生活をしてきたから、⑬神の与え給たまうた忘却作用である睡眠だけで、充分、⑭ができた。ところが、いまの間は、情報過多といわれる社会に生きている。どうしても不必要なものが、頭にたまりやすい。夜のレム睡眠くらいでは、処理できないものが残る。これをそのままにしておけば、だんだん頭の中が混乱し、常時、「忙しい」状態になる。ノイローゼなども、そういう原因から起る。

かつては、忘れてはいけけない、忘れてはいけけない、と言っていた。倉庫として頭を使った。中が広々していたからである。⑮このころは入れるものが多くなつたのに、スペースには限りがある。その上、倉庫だけではなく工場としてもものを創り出さなくてはいけない。場ふさがりがごろごろしているのは、⑯フツゴウである。

忘れる努力が求められるようになる。

これまで、多くの人は⑰こんなことは考えたこともないから、さあ、忘れてみよ、と言われても、さっさと忘れられるわけがない。しかし、入るものがあれば、出るものがなくてはならない。入れるだけで、出さなくては、爆発してしまう。

【中略】

勉強し、知識を⑱シユウトクする一方で、不要になつたものを、処分し、整理する必要がある。何が大切で、何がそうでないか。これがわからないと、古新聞一枚だつて、整理できないが、いちいちそれを考えているひまはない。自然のうちに、直観的に、⑲あとあと必要そうなものと、不要らしいものを区分けして、新陳代謝しんちんたいしやをしている。

頭をよく働かせるには、この「忘れる」ことが、きわめて大切である。頭を高能率の工場にするためにも、どうしてもたえず忘れて行く必要がある。

忘れるのは価値観にもとづいて忘れる。おもしろいと思つていることは、些細ささいなことでもめつたに忘れない。価値観がしっかりしていないと、大切なものを忘れ、つまらないものを覚えておくことになる。これについては、さらに考えなくてはならない。

(「思考の整理学」外山滋比古)

問一 傍線部①「悪いときめてしまう」とあるが、この文では「くを」にあたる部分が省略されている。どのような言葉が省略されているか。適当な言葉を五字で答えよ。

問二 傍線部②「それなりの理由がある」とあるが、どのような理由があるのか。そのことを説明した次の文の空欄に入る言葉を本文を参考にして考え、二十字以内で答えよ。

教室は、ので、簡単に忘れられると困るといふ理由。

問三 傍線部③「ときどき試験をして調べる」とあるが、続くA、Eの段落では「試験」があるものにたとえられている。どのようにたとえられているか。文中から五字以内で抜き出せ。

問四 傍線部④「生き字引というような人間」とあるが、それはどのような人のことか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

- ア 疑問があれば、いつでも、どこにでもかけつけて解決してくれる人。
- イ 言葉に新しい意味を持たせ、おもしろおかしく説明してくれる人。
- ウ 昔の言葉を今の言葉に置き換えて、分かりやすく教えてくれる人。
- エ 聞けば全てのこと分かるぐらいいろいろなことを知っている人。

問五 傍線部⑤「忘れるな、が合言葉になる」とあるが、「合言葉になる」とは、ここではどのような意味で用いられているか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

- ア 仲間同士だけで通じるように言うこと。
- イ 誰もが理解できるように分かりやすく言うこと。
- ウ 皆が共通の意識で同じように言うこと。
- エ 全員ががんばれるように目標を立てて言うこと。

問六 傍線部⑥「人間の頭を倉庫として使う」とあるが、それは具体的にどうすることか。「こと」に続く形で文中から十一字で抜き出せ。

問七 傍線部⑦「整理が大事になる」とあるが、筆者が述べている二通りの「整理」を三十五字以内で説明せよ。

問八 傍線部⑧「そのこと」とは何をさしているか。それを説明している次の文の空欄ア～ウに入る語を文中から探し、それぞれ漢字二文字で答えよ。

工場の **ア** を上げるためには、 **イ** を行うスペースが必要であり、それは人間の頭で言えば **ウ** する必要があるということ。

問九 傍線部⑨「人間の頭は、知的工場」とあるが、この工場では具体的にどういうことを行うのか。「こと」に続く形で文中から十字で抜き出せ。

問十 傍線部⑩「忘れることに対する偏見」とあるが、「偏見」とは偏ったものの見方、考え方のことである。ここではどのような考えを言っているのか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えよ。

- ア だれでも忘れることぐらいあるという考え。
- イ 忘れることはいけないことだという考え。
- ウ 少しぐらいならば忘れてもいいという考え。
- エ 忘れたときにはすなおに謝るという考え。

問十一 傍線部⑪「頭の中へどんどんいろいろなことが入ってきて、混乱状態におちいる。」の「どんどん」という語が修飾している部分を次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 頭の中へ ア どんどん イ いろいろなことが ウ 入ってきて、 エ 混乱状態に オ おちいる。

問十二 傍線部⑫「朝の時間が、思考にとって黄金の時間である」とあるが、どのように言えるのはどうしてか。その理由を述べた次の文の空欄に入る言葉を二十字以内で答えよ。

レム(REM) 睡眠中に人間は、から。

問十三 傍線部⑬「神の与え給うた忘却作用」とあるが、なぜこのような表現をしているのか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 睡眠は意識的なものでなく自然なものだから。
- イ 筆者は神のことを深く心から信じてるから。
- ウ だれでも困ったときは神に頼るしかないから。
- エ 昔の人は神や仏をととても大切にしていたから。

問十四 空欄⑭に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 頭の体操 イ 頭の訓練 ウ 頭の掃除 エ 頭の回転

問十五 傍線部⑮「このごろは入れるものが多くなった」とあるが、それは世の中がどのように変化したからか。そのことを最もよく表している言葉を文中から五字以内で抜き出せ。

問十六 傍線部⑯「こんなこと」とあるが、どのようなことを指しているか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

- ア 忘れることでのんびりと暮らせること。
- イ 忘れても困らない社会になったこと。
- ウ 覚える必要がなくなってしまったこと。
- エ 努力して忘れなければならないこと。

問十七 傍線部⑰「あとあと必要そうなものと、不要らしいものを区分け」とあるが、そのときに基準となるものは何であると述べているか。文中から五字以内で抜き出せ。

問十八 空欄「・」に入る接続詞を次の中から選び、それぞれ記号で答えよ。

- ア また
- イ ところが
- ウ そして
- エ なぜなら
- オ つまり

問十九 二重傍線部㉑㉒のカタカナを漢字に直せ。

【二】次の各問に答えよ。

問一 次の①～⑤の各文の空欄に体の一部分を入れ、下の意味になるように慣用句を完成させよ。空欄に入る語は後の語群から選び、記号で答えよ。

- ① が広い。 (知り合いが多いこと)
- ② が出る。 (予算をオーバーすること)
- ③ が痛い。 (自分の欠点を指摘されること)
- ④ がたらない。 (働く人が不足していること)
- ⑤ が届く。 (求めるところまで十分に注意が及ぶこと)

【語群】

- ア 心
- イ 足
- ウ 手
- エ 頭
- オ 目
- カ 耳
- キ 鼻
- ク 顔
- ケ 腹
- コ 腰

問二 次の①～⑤の上と下のことわざの に、共通した語を入れことわざを完成させよ。ただし①はひらがな二字、②～⑤は漢字一字で答えよ。(上下のことわざの意味は異なる)

- ① ・ も方便。 ・ から出たまこと。
- ② ・ 言わぬが 。 ・ より団子。
- ③ ・ 知らぬが 。 ・ の顔も三度。
- ④ ・ 焼け に水。 ・ の上にも三年。
- ⑤ ・ 枯れ木も のにぎわい。 ・ 塵も積もれば となる。

問三 次の①～⑤の傍線部の語を漢字で書くとき、正しいものはどれか。下のア～エの中から選び、記号で答えよ。

- ① 家庭科で布をタつ。 (ア 立つ イ 裁つ ウ 絶つ エ 断つ)
- ② 学級会で決をトる。 (ア 撮る イ 取る ウ 捕る エ 採る)
- ③ 学問をオサめる。 (ア 修める イ 収める ウ 納める エ 治める)
- ④ 病気がカイホウに向かう。 (ア 解放 イ 開放 ウ 快方 エ 会報)
- ⑤ 大雪で道路がキセイされる。 (ア 帰省 イ 規制 ウ 寄生 エ 既成)